

愛知県立瀬戸高等学校

(愛知県)

図書館まつり の取り組み

愛知県立瀬戸高等学校
図書委員会

愛知県立瀬戸高等学校は2024年に創立100周年を迎えた伝統校。
しかし生徒数はピーク時から半減、図書館の利用率も低下している。
読書離れが進む中で、図書館の認知度向上や来館の喚起とするため
校に「図書館まつり」というイベントを実施。現在は「文化的な企
画」や展示活動を通じて、生徒の視野や世界観を広げ、図書館活動の
意義や活性化をはかることを目指している。生徒主体による大規模
展示やイベントは「はるかなる未来」は稀有なイベントを行っている。

昔の図書館まつり

秋の読書週間時期に開催する1日限りのイベント。多読者の表彰式と
吹奏楽部などによるミニコンサートが主体で、生量向けの校内企画。

~2007

2008~

今の図書館まつり

本の世界や文化的なジャンルをテーマとして図書館全体をギャラリーとする大規模展示。期間も2～3週間あり一般公開を前提としている。

準備から開催までの流れ

企画係が連日話し合いをしてテーマを決定。

文化祭後に準備が本格化。図書館の机などを移動し、大型展示物を組み立てる。



本格的に全体準備開始。企画係がチームリーダーとして分担班に入り指示する。

こうなります

- ・テーマから展示内容まで生徒で話し合って決めること
- ・準備・制作・運営もほとんど生徒だけで進めること
- ・わからないことはICTを活用して、進めること
- ・一般公開前夜までのでクオリティを追求すること
- ・来場者の対応も図書委員で行うこと
- ・前年度経験者が企画係に入ってリーダーシップをとること

- ・図書委員の達成感と自己肯定感の獲得
- ・生徒同士が学年を越えて仲良くなる
- ・市立図書館など地域との連携
- ・地域社会との交流と開かれた学校づくり
- ・メディア露出により学校の知名度が向上
- ・委員の実績となり面接などで話題にできる
- ・図書館が「行きやすい場所」になる
- ・今までなかった新しい生徒が来る

2022年には4つの放送局に教材を受けて全国放送されました。
東京、大阪、金沢など遠方の来館者も。総来館者数1600人の大反響！
※「瀬戸高校 ジブリ」で検索すると当時の動画が見られます。

[illegible]

1年間おつかれさま!

鳥獸戲画展

図書の
この一
すこの
ごのろ
く年
START



2022年には4つの施設に教材を受けて全国放送されました。
東京、大阪、金沢など遠方の来館者も、館来館者数1600人の大反響！
※「観覧施設 シアタリ」で観覧すると当館の動画が見られます。

図書館まつりによる効果と成果

- 図書館の活動と自己啓発の機会
- 生涯学習の学習を促す効果となる
- 市民図書館と地域との関係
- 地域社会との交流と繋がりを学校づくり
- メディア「画面上」の認知と関係の向上
- 来館者の輪と交流関係など広がり、なる
- 図書館が「行きやすい場所」になる
- 今までなかった新しい活動がある

